



Analyze & Census

国土交通省

建設工事受注動態統計調査報告 1月の受注総額は1.4%増加

国土交通省は、建設工事受注動態統計調査報告2021年1月分を公表しました。1月の受注高は、公共機関からの受注工事が1兆1,602億円(前年同月比25.6%増)と増加し、民間等からの受注工事も2兆4,427億円(同0.1%増)と増加した結果、元請受注高は3兆6,029億円で前年同月比7.1%増となりました。下請受注高を加えた受注高の合計は、5兆3,542億円で前年同月比1.4%の増加と4か月ぶりに増加に転じました。

(<https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001389846.pdf>)



Analyze & Census

国土交通省

2020年度下請取引等実態調査 適正回答率は前年度より増加傾向

国土交通省は、2020年度下請取引等実態調査の結果を公表しました。全国の18,000建設企業を対象に郵送による書面調査の形式で行われ、下請発注実績のある企業が指導対象となる28調査項目のうち25項目において適正回答率が前年度より増加しました。「下請代金の決定方法」、「契約締結時期」、「支払手段」等で適正回答率が高く、概ね遵守されている一方、「見積提示内容」、「契約条項」等の適正回答率が低い項目も見受けられました。

(<https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001391904.pdf>)



Management

国土交通省

解体工事の経過措置を6月末まで延長 講習の受講機会減少に対応

国土交通省は、建設業法施行規則に関する省令を一部改正し、とび・土工事業の技術者資格を有する者を解体工事業の技術者資格を有する者とみなす期間の期限を延長しました。新型コロナウイルス感染症の拡大による登録解体工事講習の受講機会の減少等に対応した措置であり、2021年3月31日までであった期限が2021年6月30日までに延長されました。



Management

国土交通省

1級土木施工管理技術検定 女性合格者比率過去最高の8.9%

国土交通省は、2020年度の1級土木施工管理技術検定「実地試験」の合格者を発表しました。受検者24,204人に対して7,499人が合格。1級土木施工管理技士の称号が付与され、現場の監理技術者や主任技術者等として従事できるこの試験は近年、受検者に占める女性の割合が増加傾向にあり、今年度は5.8%。また、今回の女性合格者比率は8.9%と前年度の8.0%を上回り、男女比率の統計の残る2003年度以降で最高となりました。

(<https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001390543.pdf>)



Analyze & Census

国土交通省

建築物リフォーム・リニューアル調査報告 第3四半期の受注高は14.4%減

国土交通省は、建築物リフォーム・リニューアル調査報告を公表しました。元請として受注した建築物リフォーム・リニューアル工事について、全国の5,000建設企業に対して実施された調査で、2020年度第3四半期は、住宅に係る工事の受注高8,822億円(対前年同期比3.7%増)、非住宅建築物に係る工事の受注高1兆7,144億円(同21.5%減)で、受注高の合計は2兆5,966億円(同14.4%減)となり、第1四半期から3期連続で前年同期比を下回りました。

(<https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001390011.pdf>)

東日本建設業保証

『建設業経営者のための事業承継ガイドブック』を刊行

この度、小冊子『建設業経営者のための事業承継ガイドブック』を刊行しました。経営者層を対象に、5つのステップを切り口に、いつ・何を・どのように行えば、事業承継を円滑に進められるか分かりやすく解説しています。また、事業承継支援の専門家である筆者が過去に支援した5つの事例を取り上げ、親族内承継、親族外承継、M&Aのケーススタディを紹介しています。弊社営業部・支店の窓口にて無料で提供しています。

